

事務事業評価表

平成24年度【23年度事後評価】

事務事業評価表の見方
(単位当たりコスト)

会計名称			
事務事業名			
予算区分	款		属 連絡先
	項		
	目		
	細目		

● 会計の名称・予算の区分を記載しています。

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
<p>● 『誰を、何を対象として行っている事業なのか』を記載しています。 ※人、自然資源、団体等</p>		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
<p>● 『23年度の事務事業の内容、実施手法、手順等』を記載しています。</p>		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
<p>● 『事業のねらい、目的』を記載しています。</p>		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度当初
対象指標	● 『対象の大きさを示す指標 (面積、人数、施設数、団体数など)』を記載しています。		● 指標値 21、22、23年度:実績値 24年度:目標値・予測値			
活動指標	● 『活動内容を示す指標 (参加者数、整備延長、開催回数 など)』記載しています。		● 事業費 財源の内訳別に記載しています。			
成果指標	● 『目的(意図)の達成度を示す指標』を記載しています。	目標値 実績値 目標値 実績値	● 人工数 各職員の年間総労働量を1.0(人工/年・人)として、各事業における労働量を記載しています。			
投入コスト	事業費計		千円			
	財源内訳	国支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他				
		一般財源				
	所要人員(正職員・嘱託)	人工				
	トータルコスト	千円	● トータルコスト 事業費と、事業に従事する職員の人件費コストの合計を言います。			
	単位当たりコスト	円	● 単位当たりコスト トータルコストを、利用者数や件数など、サービスの対象数で除したものを言います。			
	単位当たりコストの考え方					

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果向上の可能性はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

● 成果指標の増減状況とその原因を記載しています。
● 成果指標が良くなる(向上する)可能性があるか、ないかの理由やどうすれば成果指標が向上するかを記載しています。